R5A-51C57P

ユーザーズガイド(取扱説明書)

◀ 画面で読むマニュアル ▶

名称と機能

各機能のON/OFF

使用する

トラブルの対応

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書(ユーザーズガイド)では、本機を使うための説明を掲載しています。
本書はプリントアウトして保管しておくことをお勧めいたします。
別冊のセットアップガイドでは、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続して Windows のセットアップを終了するまでの手順を説明しています。
本機を正しくお使いいただくためにも、必ずセットアップガイドからお読みください。

ONKYO®

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

マーク	説明
警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

名称と機能

各部の名称と機能

本体各部の名前とその機能について説明しています。
各部の詳細な説明、および周辺機器との接続方法については、別のページで詳しく説明している部分もありますので、あわせてお読みください。

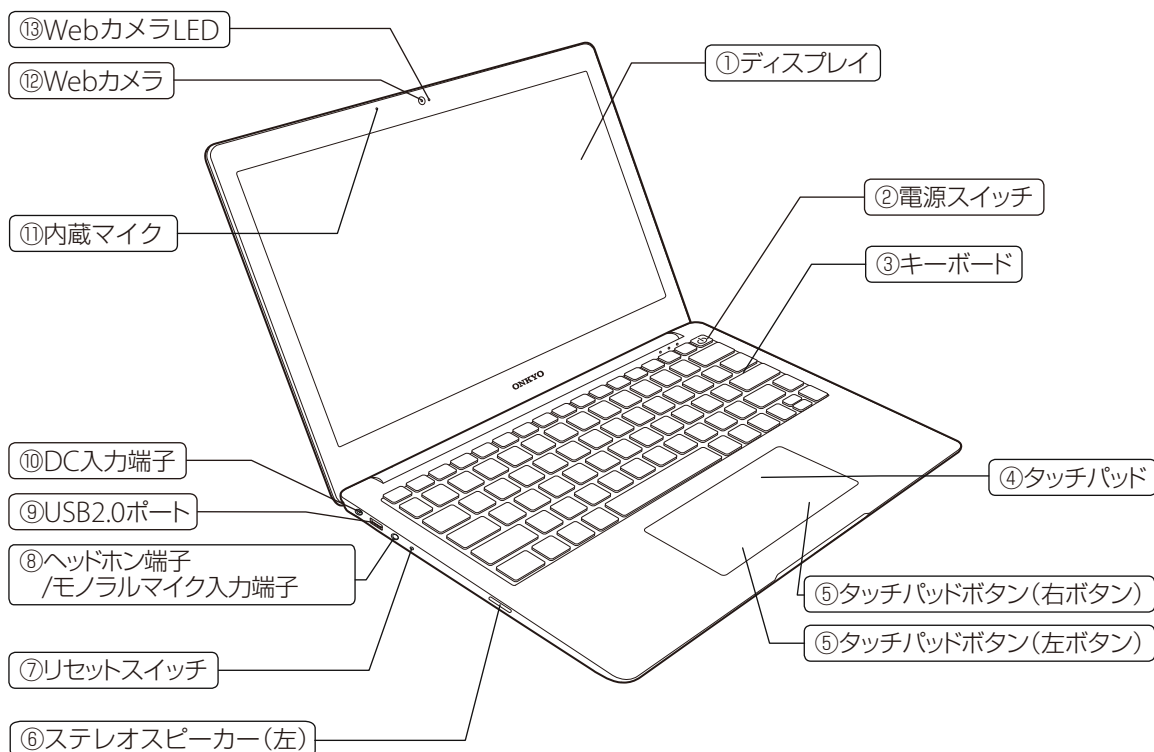
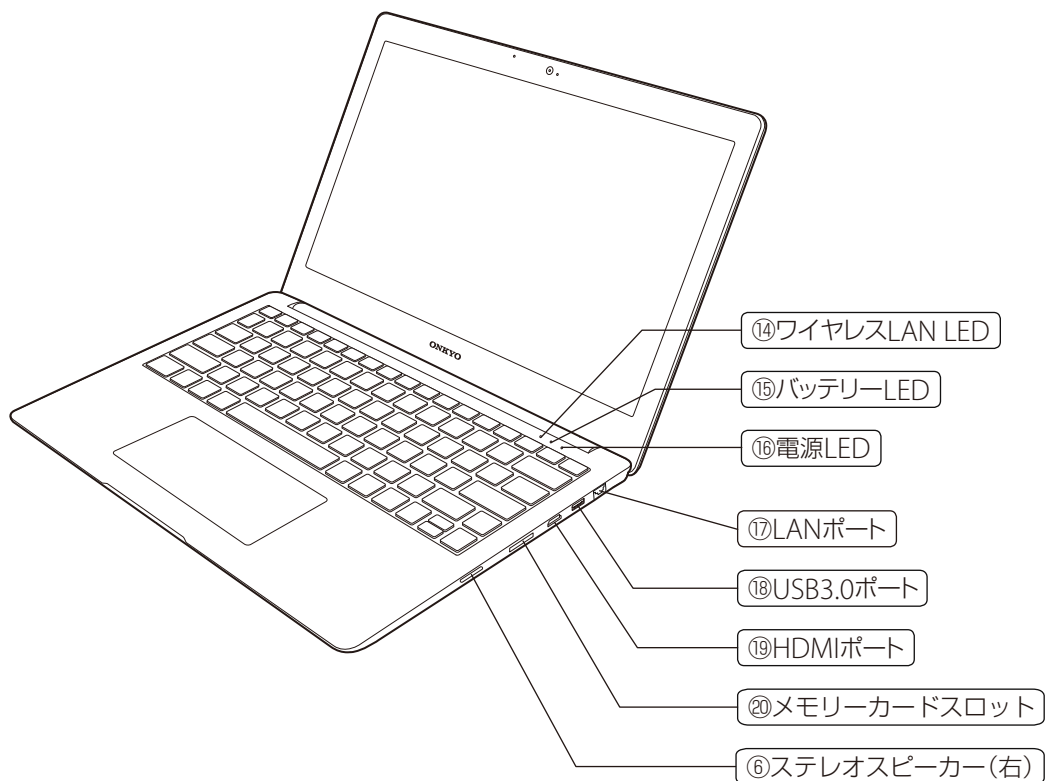
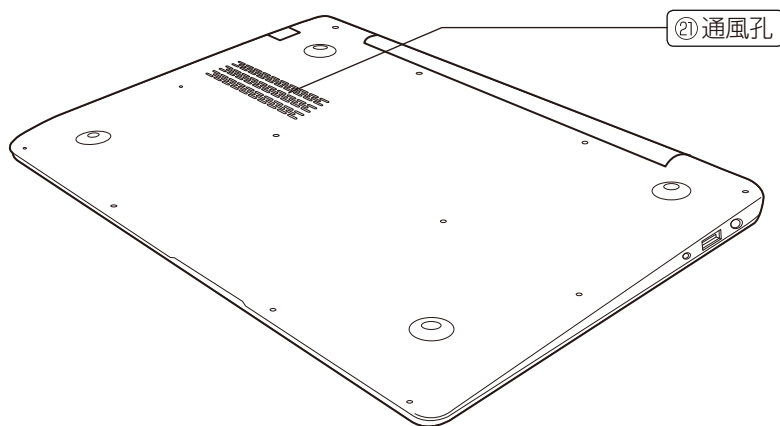
製品の詳しい仕様およびその他の情報は、当社Webサイトからご参照いただけます。
☞ http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx
※製品の型番は本体底面に貼り付けられている型番ラベルを確認してください。

まえ/ひだり

まえ/みぎ

ONKYO
⑭ワイヤレスLAN LED
⑮バッテリーLED
⑯電源LED
⑰LANポート
⑱USB3.0ポート
⑲HDMIポート
⑳メモリーカードスロット
⑥ステレオスピーカー（右）

した

㉑通風孔

① ディスプレイ
文字や図形、動画を表示します。

② 電源スイッチ
パソコンの電源をONします。
電源ON時に約2秒間押すと、スリープ状態になります。

注意
・電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

③ キーボード
キーを押して文字を入力したり、コマンド（命令）を送ったりします。

④ タッチパッド
指を軽くのせて動かすと、ディスプレイ上のマウスポインターが移動します。

⑤ タッチパッドボタン（右ボタン・左ボタン）
それぞれ、マウスの右ボタン、左ボタンに対応しています。

⑥ ステレオスピーカー
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が出力されます。

音量はキーボードを使って操作できます。Fnを押しながらF7キーを押すことで音量を下げることができます。Fnを押しながらF8キーを押すことで音量を上げることができます。

⑦ リセットスイッチ
強制的に電源をOFFにします。故障の原因になる場合がありますのでやむを得ない場合以外は使用しないでください。

⑧ ヘッドホン端子/モノラルマイク入力端子
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンとマイクが一体になった4極ミニプラグのマイク付きヘッドセットも使用できます。

・4極ミニプラグのマイク付きヘッドセットはOMTPとCTIAという2種類の規格があります。本製品はCTIA準拠です。OMTP準拠のヘッドセットは使用できません。
・一般的に市販されているマイクの機能のみを持ったマイクロフォンは使用できません。

⑨ USB2.0ポート
USB機器を接続します。データ転送速度はUSB2.0準拠です。

⑩ DC入力端子
付属のACアダプターを接続します。

注意
- **付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**

⑪ 内蔵マイク
本機に音声を入力します。

⑫ Webカメラ
静止画や動画を撮影できるカメラです。

⑬ WebカメラLED
Webカメラの機能が動作中に点灯します。

⑭ ワイヤレスLAN LED（(( ))）
ワイヤレスLANの機能が動作中に点灯します。

⑮ バッテリーLED（）
バッテリーの充電状態を表示します。

⑯ 電源LED（☼/☾）
電源の状態を表示します。
点灯（白）：本機の電源がONの状態です。
点滅（白）：本機がスリープの状態です。本機の電源がONの状態で、ディスプレイを閉じると、スリープの状態になります。スリープの状態から復帰する方法については、「スリープ、休止状態」を参照してください。

⑰ LANポート
LANケーブルを接続します。

注意
電話用のモジュラーケーブルは接続できません。

⑱ USB3.0ポート
USB機器を接続します。データ転送速度はUSB3.0準拠です。

⑲ HDMIポート
HDMI端子付きの外部ディスプレイやテレビを接続します。

⑳ メモリーカードスロット
以下のメモリーカードを差し込みます。
・SDメモリーカード　・SDHCメモリーカード
・MMC

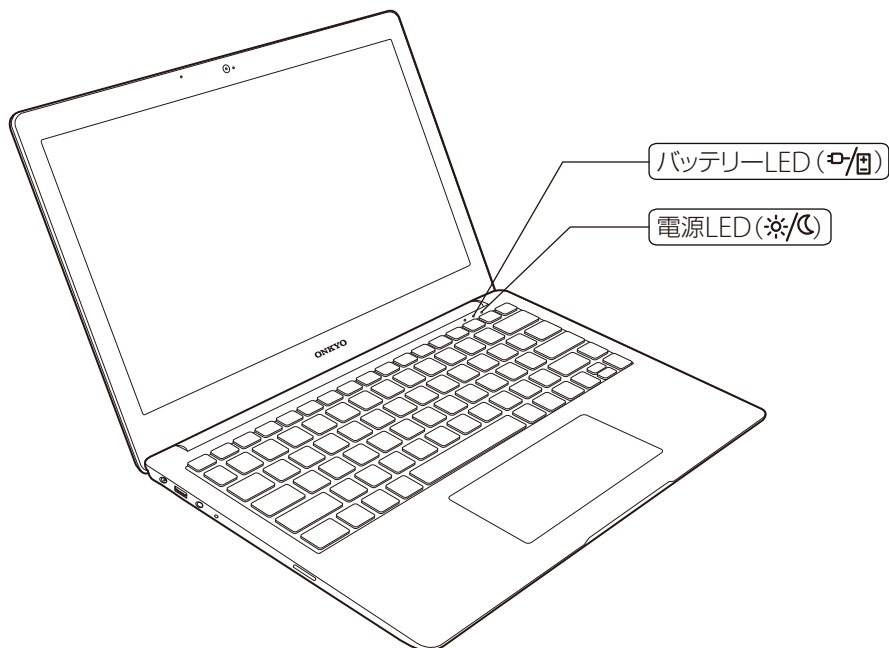
・メモリーカードにはそれぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
・「miniSDカード」または「microSDカード」など、一覧に記載のない種類のカードは、本機に直接挿し込むことはできません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

㉑ 通風孔
パソコン内部の熱を冷却する風を通します。壁などで塞がないでください。

注意

パソコンを設置する場合、下記の点を守ってください。パソコンの通風孔が塞がれ、故障や発熱の原因となります。
- **机などのパソコンを設置する面に、パソコン底面にある足のすべてが接地するように設置してください。**
- **毛布などの形状が変形するものの上に、パソコンを設置しないでください。**

バッテリーの状態の確認

本機のバッテリーの状態を、バッテリーLEDで確認できます。

バッテリーLED（ ）
電源LED（ ）

いったん満充電になったバッテリーは、残量が98%以下にならないと、充電が始まりません。

バッテリーLED（ ）の表示とバッテリーの状態

状　態	内　容
点灯（オレンジ）	バッテリーが充電中の状態です。
点灯（白）	バッテリーが満充電
点滅（オレンジ）	15秒間点滅・・・バッテリーが9%～4%の状態 4秒間点滅・・・・バッテリーが4%～0%の状態
消灯	バッテリーは充電されていません。

電源LED（ ）の表示

状　態	内　容
点灯（白）	起動中
点滅	スリープ状態
消灯	電源OFF/休止状態

注意

バッテリーの残量が少ない状態でアプリケーションソフトの操作を続けると、データやプログラムファイルが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。
バッテリーの残量がすべて無くなると、アプリケーションソフトの使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの警告音が鳴ったらすぐにデータを保存してください。

各機能のON/OFF

電源のON/OFF

電源をON/OFFする方法を説明します。
電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

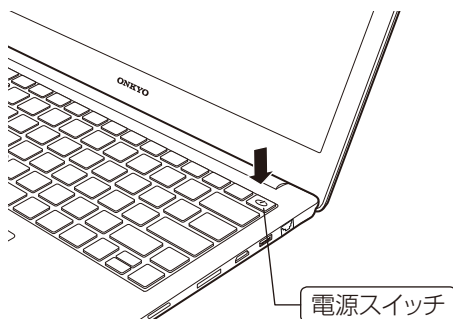
電源のON

本機の電源をONにします。Windowsのセットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows 7のデスクトップ画面が表示されます。

1. **電源スイッチを押します。**

しばらくすると、Windows 7のデスクトップ画面が表示されます。
※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。パスワードを入力して、をクリックします。

電源スイッチ

電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ シャットダウン

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. **[スタート] ボタン→ [シャットダウン] ボタンを選択します。**

注意

電源ボタンの長押しやリセットボタンでも強制的に電源をOFFにできますが、故障の原因になる場合がありますのでやむを得ない場合以外は使用しないでください。

本機の電源が完全にOFFになります。
次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。

ワイヤレスLAN、Bluetooth機能のON/OFF

ワイヤレスLAN、Bluetoothの機能のON/OFFは、キーボードの[Fn]キーとファンクションキーの組み合わせで切り替えを行います。

ワイヤレスLANのON/OFF

初期状態はON になっています。
[Fn] ＋[F2] キーを押すとON/OFFが切り替わります。
ONの状態では、ワイヤレスLAN LED が点灯します。

Bluetooth のON/OFF

初期状態はON になっています。
[Fn] ＋[F10] キーを押すとON/OFFが切り替わります。
ONの状態では、通知領域（画面下部 Windows のタスクトレイの右側領域）に Bluetoothアイコンが表示されます。

内蔵マイクのON/OFF

マイク付きヘッドセットを使用する場合は、内蔵マイクを OFF にすることをお勧めします。

内蔵マイクをOFF にする方法

通知領域（画面下部 Windows のタスクトレイの右側領域）の の中にある「Realtek HD オーディオマネージャ」を起動し、「デバイス詳細設定」→「すべての入力ジャックを独立した入力デバイスとして分離します。」を選択します。

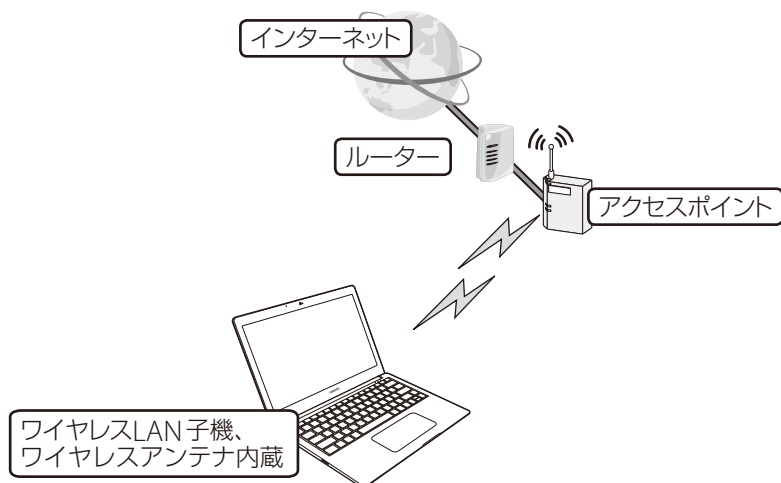
内蔵マイクをON にする方法

通知領域（画面下部 Windows のタスクトレイの右側領域）の の中にある「Realtek HD オーディオマネージャ」を起動し、「デバイス詳細設定」→「同型の入力ジャック、つまりライン入力またはマイクを1つの入力デバイスとして統合します。」を選択します。

ワイヤレスLANの使用

ワイヤレスLANとは

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデータをやり取りするLANのことです。「アクセスポイント」と呼ばれる中継機器や市販のワイヤレスLAN 親機を介して、ワイヤレスで構内ネットワークやインターネットに接続できます。

インターネット
ルーター
アクセスポイント
ワイヤレスLAN 子機、
ワイヤレスアンテナ内蔵

セキュリティーに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティーに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

■ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

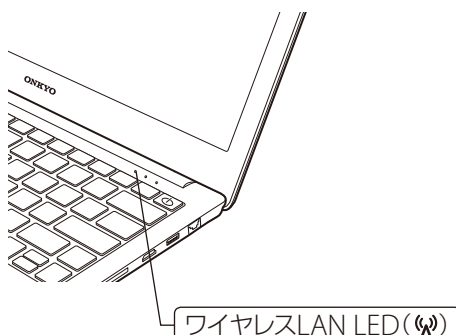
セキュリティーの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANに接続する

■ 自動認識での設定

1. ワイヤレス LANの機能をONにします。
「各機能のON/OFF」のページをご参照ください。

ワイヤレスLANの機能が働くと、ワイヤレスLAN LED( ) が点灯します。

接続可能なワイヤレスLANが検出されると、タスクバーにメッセージが表示されます。

ワイヤレスLAN LED( )

2. 通知領域に表示された［ワイヤレスネットワーク］アイコンをクリックします。
ネットワークの一覧が表示されます。

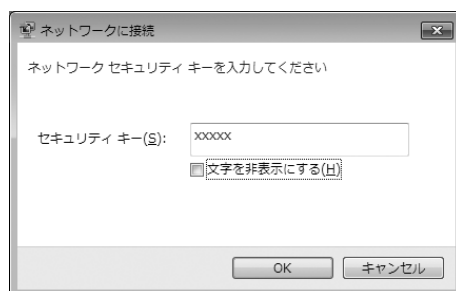
3. ネットワークの一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、［接続］ボタンをクリックします。
セキュリティキーを設定している場合、【ネットワークに接続】ダイアログが表示されます。

- セキュリティキーを設定していない場合は、そのままワイヤレスLANに接続されます。
- 一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合は をクリックします。

接続されていません
接続は使用可能です
ワイヤレス ネットワーク接続
ONKYO
自動的に接続する 接続(C)
ネットワークと共有センターを開く

4. 「セキュリティキー」を入力して、［OK］ボタンをクリックします。
本機がワイヤレスLANに接続されます。

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

ネットワークに接続
ネットワーク セキュリティ キーを入力してください
セキュリティ キー(S): XXXXX
文字を非表示にする(H)
OK キャンセル

■ 手動での設定

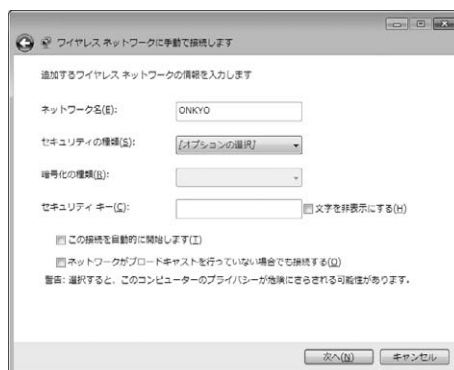
1. **「自動認識での設定」の手順1～2を実行します。**
ネットワークの一覧が表示されます。

2. **「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。**
【ネットワークと共有センター】ウィンドウが表示されます。

3. **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。**
【接続またはネットワークのセットアップ】ダイアログが表示されます。

4. **「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**
【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ウィンドウが表示されます。

5. **「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」を設定して、[次へ] ボタンをクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

6. **「自動認識での設定」の手順3～4 を実行します。**

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ ワイヤレスLAN接続を終了する

ワイヤレスLANの機能をOFFにします。
本機がワイヤレスLANから切断され、ワイヤレスLAN LED（）が消灯します。

Bluetoothの使用

Bluetoothとは

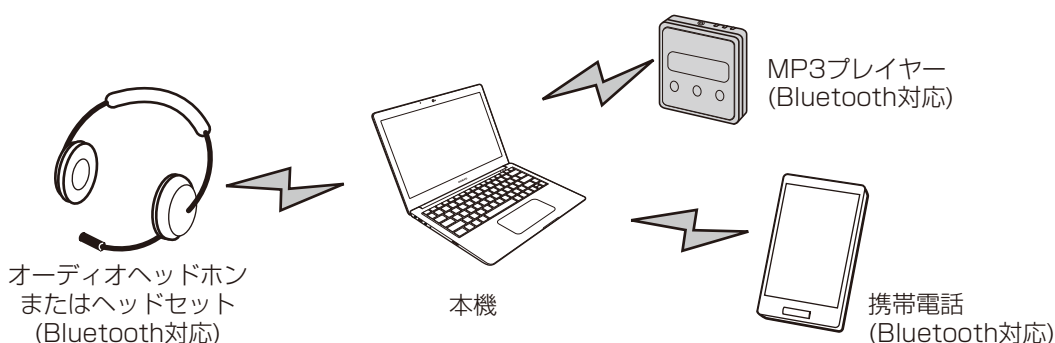
Bluetoothを使うと、Bluetoothに対応するパソコンやMP3プレイヤー・携帯電話・ヘッドセットなどの製品間で、ケーブルを使わずに音声やデータの交換ができます。Bluetoothは、2.4GHzの帯域で動作し、半径10〜100メートル程度の比較的狭い範囲で通信します。本機のBluetooth機能は、半径10メートル程度の範囲で使用します。
Bluetooth機能を使うには、ペアリングによって接続対象を特定し、双方に同一のパスキーを入力して接続を確立します。

- Bluetooth対応機器は、市販のものをお買い求めください。
- 携帯電話やヘッドセットなど、Bluetooth対応機器の操作方法は、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

MP3プレイヤー
(Bluetooth対応)

オーディオヘッドホン
またはヘッドセット
(Bluetooth対応)

本機

携帯電話
(Bluetooth対応)

Bluetoothの接続

Bluetoothの接続方法は、次のとおりです。ここでは例として、別売のBluetooth対応キーボードとの接続を例にとって説明します。

注意
Bluetoothを使わないときは、Bluetoothの機能をOFFにしてください。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

■ ペアリングを設定する

Bluetooth対応の機器同士が接続できる状態にすることを、「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングした機器は、再度ペアリングの設定をする必要はありません。
ここでは、ペアリングの設定方法を説明します。

1. **Bluetoothの機能をONにします。**

「各機能のON/OFF」のページをご参照ください。

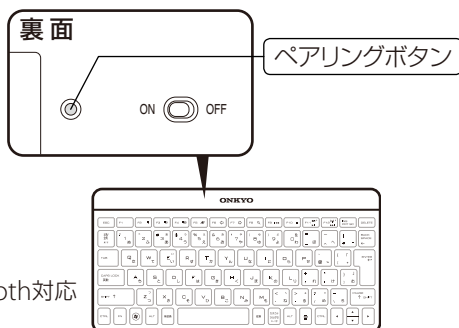
2. **Bluetooth機器にあるペアリングボタンを押します。**

キーボードがペアリングモードになります。

ペアリングモードになると、キーボードの"ペアリングLED"が点滅します。

裏面

ペアリングボタン

ON OFF

※イラストは、オンキヨー製Bluetooth対応キーボードの例です。

3. **通知領域(画面下部のWindowsのタスクトレイの右側領域)に表示されている をクリックして、表示されるメニューから「デバイスの追加」をクリックします。**

【デバイスの追加】ダイアログが表示されます。

・通知領域に が表示されていない場合は、 をクリックすると表示されます。
・アイコンが (OFF)の場合は、 を右クリックして、表示されるメニューから「アダプタをオンにする」をクリックすると、Bluetoothの機能が有効になり、アイコンが に変わります。

デバイスの追加(A)
デバイスの接続を許可(L)
Bluetooth デバイスの表示(D)
パーソナル エリア ネットワークへ参加(J)
設定を開く(O)
アダプターを無効にする(F)
アイコンの削除(I)

4. **追加するデバイスを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。**

デバイスの追加
このコンピューターに追加するデバイスの選択
新しいデバイスは随時検索され、ここに表示されます。
キーボード
Bluetooth
キーボード
Windows でデバイスが検出されない場合の対処方法
次へ(N) キャンセル

【ペアリング オプションの選択】ダイアログが表示されます。

5. **「独自のペアリング コードの作成」をクリックします。**

画面にペアリングコードが表示されます。

ペアリングコードの入力が必要のないデバイスと接続する場合は、[ペアリングにコードを使用しない] を選択します。
その場合は、ペアリングコードは表示されません。

デバイスの追加
ペアリング オプションの選択
独自のペアリング コードの作成(C)
デバイスのキーパッドを使用します。
デバイスのペアリング コードの入力(E)
このデバイスにはペアリング コードがあります。
デバイスのラベルまたはデバイスのマニュアルでコードを確認してください。
ペアリングにコードを使用しない(P)
マウスなどのこの種類のデバイスには、セキュリティで保護された接続は必要ありません。
Bluetooth Keyboard
デバイスにペアリング コードがあるかどうかを確認する方法
次へ(N) キャンセル

6. **接続するデバイスに、画面に表示されたペアリングコードを入力し、Enter キーを押します。**

画面に入力枠は表示されません。

しばらくすると、接続の完了を知らせるメッセージが表示されます。
これで接続は完了です。

ペアリングをおこなった後でも、起動、再起動、スリープからの復帰後などはBluetooth機器の再認識に10秒程度の時間がかかります。再認識されるまで待ってから、機器を操作してください。

■ Bluetoothの接続をOFFにする

Bluetoothの接続を切断する方法は、次のとおりです。

注 意
Bluetoothを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

1. **通知領域に表示されている をクリックして、表示されるメニューから「アダプターを無効にする」をクリックします。**

Bluetoothの機能がOFFになります。

注 意
飛行機の中など、電波の使用が制限されている場所では、必ずBluetoothの機能をOFFにしてください。

Intel WiDiの使用

Intel WiDiとは、ディスプレイに表示されている内容を、インテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプター（別売）を通じて外部のディスプレイに表示する機能です。

Intel WiDiを使用するには

本機とインテル ワイヤレス･ディスプレイ用テレビアダプターの間はワイヤレスで通信されます。

インテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプター

外部ディスプレイ

1. **「インテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプター」（以下アダプター）と外部ディスプレイを接続し、両方の電源をONにします。**

2. **外部ディスプレイに、接続準備が完了した旨のメッセージが表示されたら、本機のデスクトップを表示し､「Intel WiDi」アイコンをダブルクリックします。**

3. **接続設定用の画面が表示されたら、アダプターのスキャンを実行します。**
使用するディスプレイ用アダプタによっては､「設定」→「一般」を選択し､「レガシー・ワイヤレス・ディスプレイをスキャンする」にチェックを入れる必要があります。

4. **接続したアダプター名が表示されますので、接続処理をおこないます。**

5. **外部ディスプレイに、セキュリティコードが表示されますので、画面の指示に従って設定をおこないます。**

表示はクローンモード（複製）です。「Intel WiDi Wedget」に対応しているアダプターであれば付属のソフトウェアで表示を切り替えできます。

・画面表示をクローンモード（複製）にした時など、本機のディスプレイに表示されている映像と、外部ディスプレイに表示されている映像でわずかな表示の時間差が発生します。これは、本機のディスプレイの映像より、電波を使った映像表示に時間がかかるためで不具合ではありません。
・本機は保護されたコンテンツ（DVD-Video、地デジ番組を録画したCPRMディスク）の映像および音声の再生に対応しております。

お使いになる上での注意

・別途ご用意いただくアダプターが保護されたコンテンツの映像および音声の再生に対応している必要があります。
・アダプターと再生ディスプレイとの接続にはHDMI接続が必須の場合があります。
（別途ご用意いただくアダプターの仕様に準じます）
・HDMI入力端子のあるパソコン用ディスプレイ、テレビでの接続が可能ですが、解像度の低いものでは再生できないことがあります。

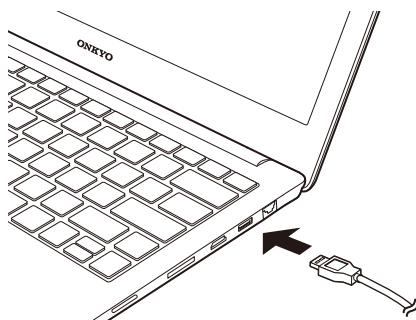
USB対応機器の使用

USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

接続時の注意事項

・接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
・ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
・本機には、複数のUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても構いません。
・USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

1. **本機のUSBポートに、USB機器のケーブルを差し込みます。**

しばらく待つと、デスクトップ画面右下のタスクバーに、「デバイスを使用する準備ができました」と吹き出しが表示されます。これで、USB機器が使えるようになります。
接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

・表示されないときは、USBポートからコネクターを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
・USB機器に、Windows 7対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows 7で使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。
・次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。
・異なるUSBポートにUSB機器を接続すると、【新しいハードウェアの検索ウィザード】が表示される場合があります。その場合は、設定を再度おこなってください。

トラブルの対応

おかしいなと思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください。
トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。すぐに電源を切ったり、むやみにタッチパネルをたたいたり、マウスのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「よくある質問集」
パソコンの電源がONにならないなどの「故障かな」と思うような問題が発生した場合に、まずは確認してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」
本書以外にも、当社Webサイト「オンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフト サポート オンライン」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows 7 およびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞「リカバリーの準備」(本書)、「リカバリーの方法」(本書、セットアップガイド)
本機をご購入時の状態に戻します。(この作業をリカバリーといいます)
リカバリーの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡してください。
お電話の前に、セットアップガイドの「修理のお申込み」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebサイトおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ 問合せ窓口一覧
（デスクトップ画面上の［ONKYO 問合せ窓口一覧］アイコンをダブルクリック）

オンキヨーへの問合せ先、および各種アプリケーションソフトの問合せ先を掲載しています。

■ マイクロソフト サポート オンライン
（http://support.microsoft.com/）

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。

■ オンキヨーPCオンラインサポート
（http://pc-support.jp.onkyo.com/）

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨーPCカスタマーセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

よくある質問集

本機の電源をONにしても、Windowsが正しく起動しないとき、まずはここに記載している項目を確認してください。

1　パソコンの電源はONになりますか?　いいえ →　●ONになりません（☞次ページ以降を参照）

↓ ONになります

2　Windowsは起動しますか?　いいえ →　●セーフモードで起動します　●起動しません（☞次ページ以降を参照）

↓ 正常に起動します

3　Windowsの画面は表示されますか?　いいえ →　●表示されますが、正常ではありません　●セーフモードで表示されます（☞次ページ以降を参照）

↓ 正常に表示されます

4　マウス・キーボードは正常ですか?　いいえ →　●正常ではありません（☞次ページ以降を参照）

↓ 正常に動作します

その他、Windowsの操作中におこるトラブルや質問は、・・・・
オンキヨーPCカスタマーセンターまでご連絡ください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

A. ・AC電源が100V～240Vまでの間であれば使用できます（プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要）。必ず付属のACアダプターを使用してください。
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

A ・ACアダプターは正しく接続されていますか？
ACアダプターのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプターの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・バッテリーは十分に充電されていますか？
ACアダプターを接続して、バッテリーを充電してからご使用ください。

・ACアダプターが故障している可能性があります。
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプターが故障している可能性があります。オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

・本機が故障していることがあります。
オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

Q.3 画面に何も表示されない

A ・本機の電源はONになっていますか？
本機の電源スイッチをONにしてください。

・表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか？
本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。

・起動およびスリープ/休止状態からの復帰に、時間がかかっている可能性があります。

Q.4 パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

A ・パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。
リカバリーを試してください。
ただし、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクに保存されたデータはすべて消去されてしまいます。
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。

・これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクの物理的な接触不良の可能性もありますので、オンキヨーPCカスタマーセンターまでお問い合わせください。

Q.5 パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A ・この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。
セーフモードで起動した場合、ドライバーや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.6 周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。
「セーフモード」でWindowsを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバーを無効にしてください。この方法でWindowsが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバーをインストールするか、デバイスドライバー自体を削除する必要があります。
「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

①本機の電源をONにして、「ONKYO」ロゴが表示されている間に F8 キーを押します。
②［詳細ブートオプション］が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
③ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindowsが起動します。
④［スタート］ボタン→［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］を選択して、「システム」欄の［デバイスマネージャー］をクリックします。
⑤【デバイスマネージャー】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の項目をダブルクリックして表示される【プロパティ】ダイアログで［ドライバー］タブをクリックしてください。
⑥［無効］ボタンをクリックし、［はい］をクリックしてから、［OK］ボタンをクリックしてください。

Windowsを再起動すると、通常モードでWindowsが起動します。

・この方法でもWindowsが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.7 終了できない

A ・電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。
・ひだり面のリセットスイッチをピンなどで押すことで、電源をOFFにできます。
電源スイッチの長押しでも終了できない場合は、ひだり面のリセットスイッチを押して電源をOFFにします。

パソコンを使っていたら

■ 画面上のトラブル

Q.8 表示される日付や時刻が正しくない

A. ・日付や時刻が間違った設定になっていませんか？
Windowsのタスクバーの時刻をクリック→「日付と時刻の設定の変更」→［日付と時刻の変更］ボタンをクリックして【日付と時刻の設定】ダイアログを起動します。
【日付と時刻の設定】ダイアログで正しい日付や時刻を設定してください。

・本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。
マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

日付と時刻の設定

日付と時刻を設定できます。

日付(D):

2009年8月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

時刻(T):

10:31:29

カレンダーの設定の変更

OK キャンセル

Q.9 日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A. ・電池が容量切れになっている可能性があります。
日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。
電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

■ ディスプレイのトラブル

Q.10 いきなり画面が消えた

A. ・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。
本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。マウスやキーボードを動かしてください。

・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。
画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スリープモードになります。

・ACアダプターのプラグが電源コンセントから外れていませんか？
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・バッテリーが充電されていない可能性があります。
バッテリーを十分に充電してください。

Q.11 画面表示にムラがある

A. ・ディスプレイを見やすい角度に調整してください。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。ムラがあるのは故障ではありません。

■ タッチパッド、マウス、キーボードのトラブル

Q.12 マウスポインターが動作しない

A. ・タッチパッドの機能がOFFになっている可能性があります。
[Fn]キーを押しながら[F1]キーを押して、タッチパッドの機能をONにしてください。

・市販のマウスやキーボードを接続した場合､接続ケーブルが外れている可能性があります。
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。

・市販のマウスやキーボードを接続した場合、本機の電源をONにしたあとにマウスを接続している可能性があります。
一度パソコンの電源をOFFにしてマウスを接続した後、パソコンの電源をONにしてください。

・適正なマウスドライバーを使用していない可能性があります。
市販のマウスを使用する場合は、専用のマウスドライバーが必要なものがあります。使用するマウスに付属のマウスドライバーを正しくインストールしてください。

Q.13 キー入力中に突然カーソルが別の場所に移動してしまう

A. ・タッチパッドの表面付近では､小さな反動でもカーソルが移動してしまうことがあります。
親指がタッチパッドの表面付近にあるときなど、タッチパッドの表面のタッピング機能が反応することがあります。

Q.14 タッチパッドを使用したとき、マウスカーソルの動きが悪いことがある

A. ・タッチパッドの表面が埃や汗などによって汚れていると、このような現象が発生することがあります。
清潔な布などで、タッチパッドの表面の汚れをふき取ってからご使用ください。

Q.15 デバイスマネージャー上で日本語106(109)キーボードが、英語101(102)キーボードと表示されてしまう

A. ・この現象は、Windows 7のシステムがプラグアンドプレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。
回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャーから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。

①[スタート] ボタン→ [コントロールパネル] → [コンピューターの簡単操作] → [キーボードの動作の変更] を選択して【キーボードを使いやすくします】ダイアログを表示します。
②ダイアログ下部の「キーボード設定」をクリックして、【キーボードのプロパティ】ダイアログを表示します。
③[ハードウェア] タブを選択し「101/102英語キーボード」の項目をダブルクリックします。
④[設定の変更] ボタンをクリックします。
⑤[ドライバー] タブを選択し、[ドライバーの更新] を選択します。
⑥「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。
⑦「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します」を選択します。
⑧「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外します。
⑨「モデル」欄から「標準PS/2キーボード」を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。
⑩[閉じる] ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

Q.16 押したキーと違う文字が表示される

A. ・CapsLock、ひらがな/カタカナ などが間違って押されていませんか？
目的の文字がタイプされるようにCapsLock、ひらがな/カタカナキーを押してください。

・キーボードのドライバーは適正なものですか？
キーボードのドライバーがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバーを更新してください。

・NumLkキーがロックされていませんか？
NumLkキーがロックされている時は、キーボードの一部がテンキーとして動作します。テンキー機能を使用しない時は、Fn ＋ NumLkキーを押し、ロック状態を解除してください。

Q.17 テンキーが入力できない

A ・テンキーが無効になっている可能性があります。
Fn ＋ NumLkキーを押し、テンキーを有効にします。

リカバリーについて

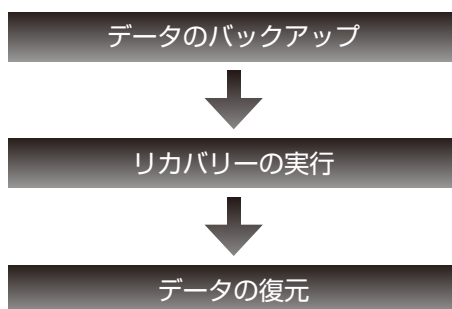
リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスクの内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。
Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーの準備

使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスクのデータを外部メディア(USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど)に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

データのバックアップ
↓
リカバリーの実行
↓
データの復元

本書では、リカバリーの実行前に、個人で作成したデータをバックアップする方法と、リカバリー後にバックアップしたデータを復元する方法を説明します。

データのバックアップ

ここでは、Internet Explorerや電子メールの設定などのデータを、外部メディアにバックアップする方法を説明しています。

お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。

電子メールのデータのバックアップについては、「Windows Liveメール」での方法を説明しています。その他のメーラーをご使用の場合、バックアップ方法はメーラーの取扱説明書などをご参照ください。

■『お気に入り』のバックアップ

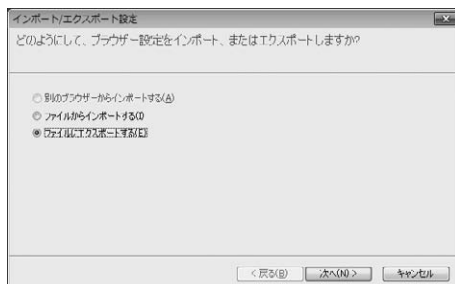
Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを作成します。

1. **Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをクリックし、お気に入りに追加 ▾ の ▾ をクリックして表示されるメニューから[インポートおよびエクスポート]を選択します。**

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

お気に入りに追加
お気に入りに追加(A)... Ctrl+D
お気に入りバーに追加(B)
インポートおよびエクスポート(I)...
お気に入りの整理(O)...

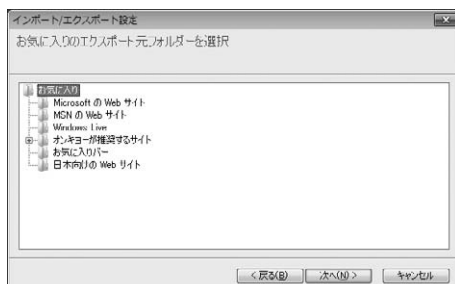
2. **[ファイルにエクスポートする] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**

【何をエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **[お気に入り] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックします。**

【お気に入りのエクスポート元フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

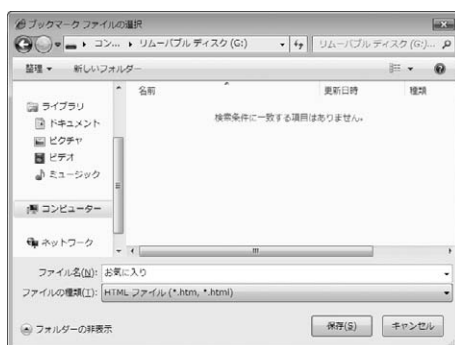
「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをエクスポートできます。

4. **「お気に入り」フォルダーを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

5. **[参照] ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

6. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログに戻ります。

7. **［エクスポート］ボタンをクリックします。**

> 手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをクリックしてください。
> 表示される画面の設定方法は、手順5～6と同じです。

終了すると、【これらの設定を正しくエクスポートしました】ダイアログが表示されます。

8. **［完了］ボタンをクリックします。**

以上で『お気に入り』のバックアップは完了です。

■ メールアカウントのバックアップ

Windows Liveメールで設定している、メールアカウントのバックアップを作成します。

> 複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **ボタン→［電子メールのエクスポート］→［アカウント］を選択します。**
【アカウント】ダイアログが表示されます。

2. **「メール」欄のアカウントを選択し、［エクスポート］ボタンをクリックします。**
【エクスポート】ダイアログが表示されます。

名称と機能
各機能のON／OFF
使用する
トラブルの対応

3. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**
【アカウント】ダイアログに戻ります。

4. **[閉じる] ボタンをクリックします。**

以上でメールアカウントのバックアップは完了です。

■ メッセージのバックアップ

Windows Liveメールで送受信した、メッセージのバックアップを作成します。

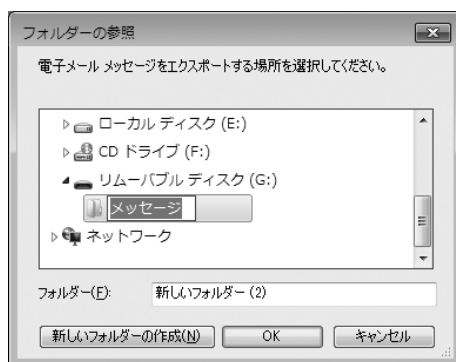
複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **ボタン→ [電子メールのエクスポート] → [電子メール メッセージ] を選択します。**
【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

2. **一覧から [Microsoft Windows Liveメール] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**
【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

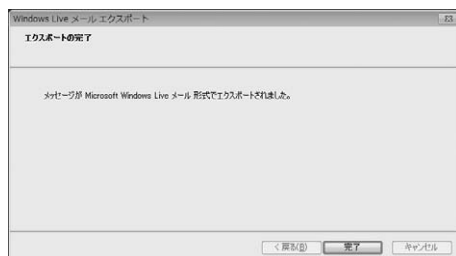
3. **[参照] ボタンをクリックします。**
【電子メール メッセージをエクスポートする場所を選択してください。】ダイアログが表示されます。

4. **外部記憶メディアを選択し、[新しいフォルダーの作成] ボタンをクリックして、任意の名前でフォルダーを作成します。**

5. **作成したフォルダーを選択して、[OK] ボタンをクリックします。**
【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

6. **[次へ] ボタンをクリックします。**
【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。

7. **[すべてのフォルダー] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**
メッセージのエクスポートが開始されます。
終了すると【エクスポートの完了】ダイアログが表示されます。

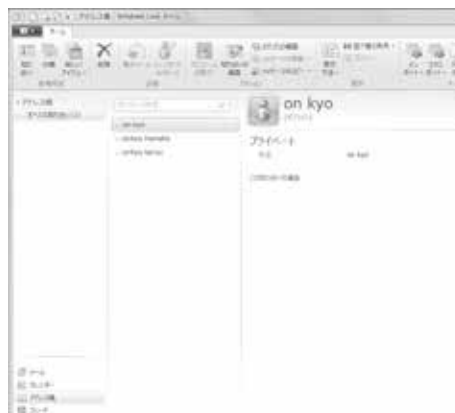
8. **[完了] ボタンをクリックします。**

以上でメッセージのバックアップ作成は完了です。

■ アドレス帳のバックアップ

Windows Liveメールで登録した、アドレス帳のバックアップを作成します。

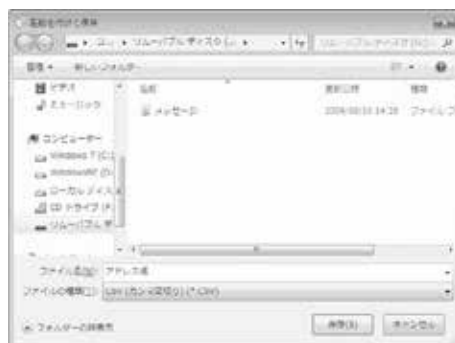
複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **[アドレス帳] をクリックし、[エクスポート] → [カンマ区切り] を選択します。**

【CSVのエクスポート】ダイアログが表示されます。

2. **[参照] ボタンをクリックします。**

【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

3. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**

【CSVのエクスポート】ダイアログに戻ります。

4. **[次へ] ボタンをクリックします。**

【エクスポートするフィールドを選択してください】ダイアログが表示されます。

5. **エクスポートするフィールド（項目）にチェックをいれて、[完了] ボタンをクリックします。**

アドレス帳のエクスポートが開始されます。

エクスポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま [完了] ボタンをクリックしてください。

■ ユーザー辞書のバックアップ

現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. **[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択します。**

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. **[名前] 欄に [C：¥Users¥＊＊＊＊＊¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

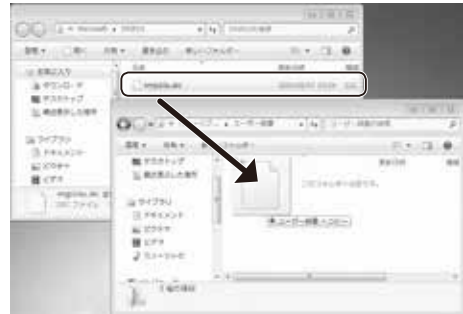
（＊＊＊＊＊には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「ONKYO」など）

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

・ユーザー辞書の保存先をほかの任意のフォルダーへ変更している場合は、変更先のフォルダーを開きます。
・ユーザー辞書の保存先は下記の方法で確認することができます。
言語バーのボタンをクリックして、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。
[辞書/学習] タブをクリックし、画面中段の [辞書名] に表示されているのが、ユーザー辞書の保存先です。

3. **［imjp10u］ファイルを、異なる任意のファイル名で外部記憶メディアに保存します。**

ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

・**お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。**

以上のバックアップが終了すれば、リカバリーをおこなってください。

データの復元

ここでは、リカバリーをおこなった後に、アプリケーションソフトや、「データのバックアップ」で保存した各データを復元する方法を説明します。

■ アプリケーションソフトの設定

リカバリーをおこなうと、すべてのアプリケーションソフトは自動的に復元されます。必要に応じ、アプリケーションソフトを再インストールしてください。
本製品に付属のアプリケーションソフトは、「ONKYO問合せ窓口一覧」の「※再セットアップについて」からインストールします。

1. デスクトップにある、「ONKYO問合せ窓口一覧」アイコンをダブルクリックします。
【ONKYO問合せ窓口一覧】が起動します。

ONKYO 問合せ窓口一覧

2. 左側の［※再セットアップについて］をクリックします。

3. 表示される一覧から、復元するアプリケーションソフトの横にある●をクリックします。

4. 画面の指示にしたがってインストールをおこないます。

本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。

問合せ窓口一覧
Roxio Creator® LJB
WinDVD® for ONKYO
筆まめVer.19ベーシック
乗換案内VER.5
ebi.Book Reader 3.6
Adobe® Reader® 9
ATOK for Windows
※ 再セットアップについて
トップ > 再セットアップについて
メモ
プリインストールされているアプリケーションをシステムから削除した場合、下記リンクより再セットアップを行うことが出来ます。
(ハードディスク内のセットアップファイルを使用します)
※ 再配布不可能なアプリケーションを除く
※ セットアップファイルを削除した場合を除く
→再セットアップ手順
アプリケーションの名称
● Adobe Acrobat 9
● マカフィー(R) PCセキュリティセンター(90日版)
● i-filter
● 乗換案内VER5
● Roxio Creator LJB
● 筆まめVer.19 ベーシック

■ バックアップしたファイルを復元する

あらかじめ外部メディアに保存しておいた、デスクトップや「ドキュメント」フォルダーにあったデータを、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

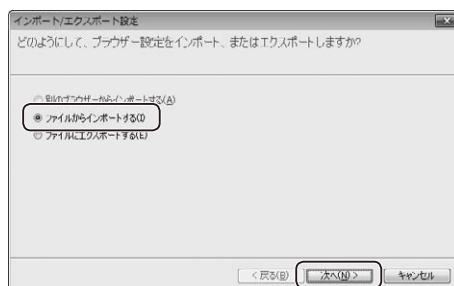
■『お気に入り』を元に戻す

Internet Explorerの『お気に入り』を復元します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをクリックし、［お気に入りに追加 ▾］の▾をクリックして表示されるメニューから［インポートおよびエクスポート］を選択します。
【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

お気に入りに追加
お気に入りに追加(A)... Ctrl+D
お気に入りバーに追加(B)
現在の全てのタブをお気に入りに追加(T)...
インポートおよびエクスポート(I)...
お気に入りの整理(O)...

2. **［ファイルからインポートする］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

【何をインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

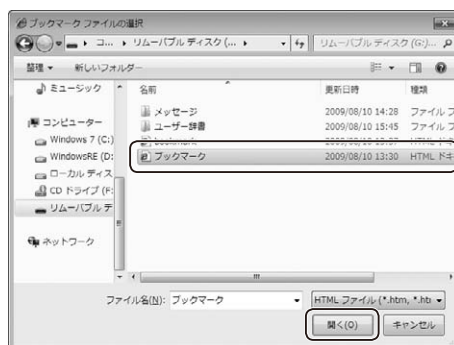
【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをインポートできます。

4. **［参照］ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

5. **バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログに戻ります。

6. **[次へ] ボタンをクリックします。**

【お気に入りのインポート先フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、[次へ] ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順4～6と同じです。

インポート/エクスポート設定
どこからお気に入りをインポートしますか?
ファイルを入力、または参照.
G:¥ブックマーク.htm
参照(R)...
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7. **「お気に入り」フォルダーを選択して、[インポート] ボタンをクリックします。**

終了すると、【これらの設定を正しくインポートしました】ダイアログが表示されます。

インポート/エクスポート設定
お気に入りのインポート先フォルダーを選択
お気に入り
MSN の Web サイト
Windows Live
オンキヨーが推奨するサイト
お気に入りバー
日本向けの Web サイト
< 戻る(B) インポート(I) キャンセル

8. **[完了] ボタンをクリックします。**

以上で『お気に入り』の復元は完了です。

インポート/エクスポート設定
これらの設定を正しくインポートしました
お気に入り
< 戻る(B) 完了 キャンセル

■ メールアカウントの復元

Windows Liveメールで設定している、メールアカウントを復元します。

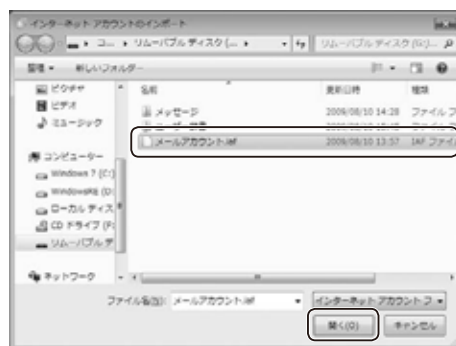
1. **ボタン→［電子メールのエクスポート］→［アカウント］を選択します。**

【アカウント】ダイアログが表示されます。

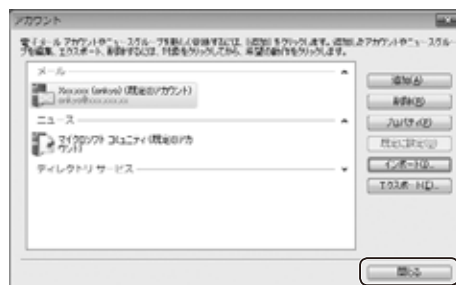
2. **［インポート］ボタンをクリックします。**

【インターネットアカウントのインポート】ダイアログが表示されます。

3. **バックアップをとったアカウントを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

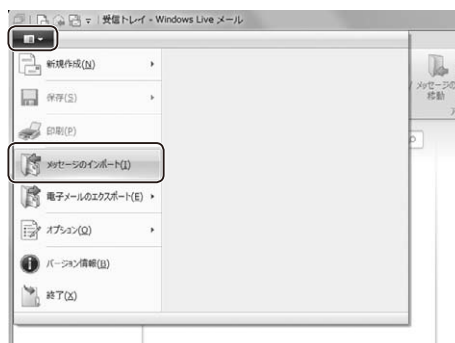
【アカウント】ダイアログに戻ります。

4. **［閉じる］ボタンをクリックします。**

以上でメールアカウントの復元は完了です。

名称と機能
各機能のON／OFF
使用する
トラブルの対応

■ メッセージの復元

Windows Liveメールで送受信した、メッセージを復元します。

1. **ボタン→［メッセージのインポート］を選択します。**

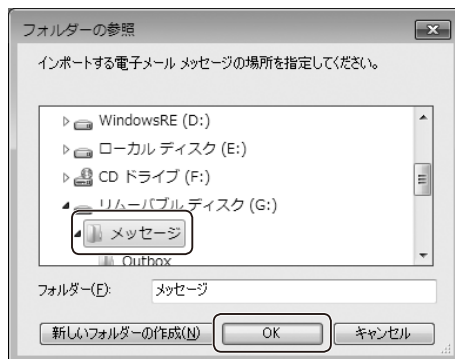
【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

2. **一覧から［Microsoft Windows Liveメール］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

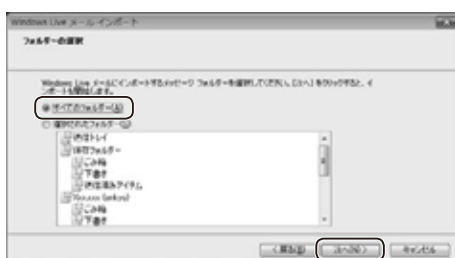
【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

3. **［参照］ボタンをクリックします。**

【インポートする電子メール メッセージの場所を指定してください。】ダイアログが表示されます。

4. **バックアップをとったメッセージを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

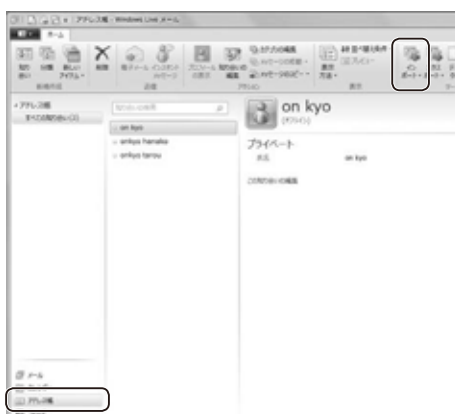
【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

5. **［次へ］ボタンをクリックします。**
【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。

6. **［すべてのフォルダー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**
メッセージのインポートが開始されます。
終了すると【インポートの完了】ダイアログが表示されます。

7. **［完了］ボタンをクリックします。**

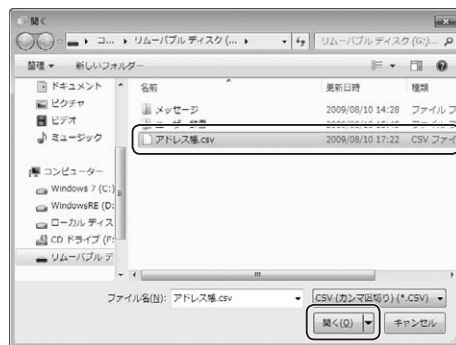
以上でメッセージの復元は完了です。

■ アドレス帳の復元

Windows Liveメールで登録した、アドレス帳を復元します。

1. **［アドレス帳］をクリックし、［インポート］→［カンマ区切り］を選択します。**
【CSVのインポート】ダイアログが表示されます。

2. **［参照］ボタンをクリックします。**
【開く】ダイアログが表示されます。

3. **バックアップをとったアドレス帳を選択して、[開く] ボタンをクリックします。**

【CSVのインポート】ダイアログに戻ります。

4. **[次へ] ボタンをクリックします。**

【インポートするフィールドの割り当て】ダイアログが表示されます。

5. **インポートするフィールド（項目）にチェックをいれて、[完了] ボタンをクリックします。**

アドレス帳のインポートが開始されます。

インポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま [完了] ボタンをクリックしてください。

■ ユーザー辞書の復元

ユーザー辞書を、次の手順で復元します。

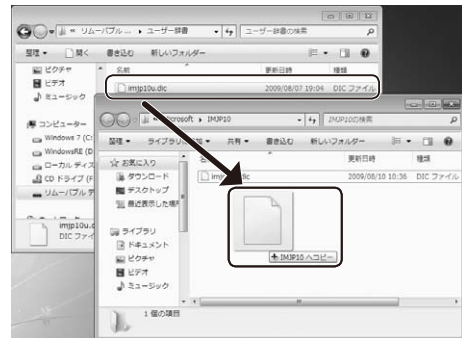
1. **[スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択します。**

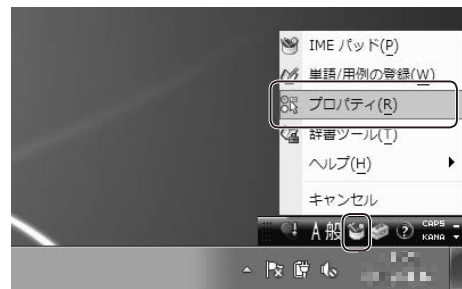
【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. **[名前] 欄に [C：¥Users¥＊＊＊＊＊¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

（＊＊＊＊＊には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「ONKYO」など）

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

3. **バックアップを取ったユーザー辞書ファイルを、【IMJP10】ウィンドウ内に移動します。**

4. **言語バーの をクリックして、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログが表示されます。

5. **[辞書/学習] タブをクリックします。**

6. **[ユーザー辞書] 欄の、[参照] ボタンをクリックします。**

【ユーザー辞書の設定】ダイアログが表示されます。

7. **手順3で【IMJP10】ウィンドウ内に移動したユーザー辞書ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログに戻ります。

8. **［OK］ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です。

リカバリーの方法

ハードディスク内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスクの内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスクのデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

データのバックアップ
↓
リカバリーの実行
↓
データの復元

注意　**リカバリー中は、電源を切らないでください。**

リカバリーの種類

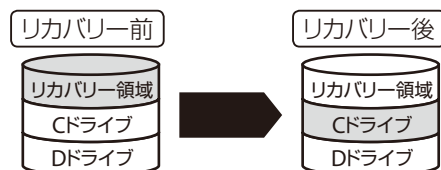
復旧方法には、「標準モード」と「高度モード」の2種類を選択できます。

■ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

リカバリー前
リカバリー領域
Cドライブ
Dドライブ

リカバリー後
リカバリー領域
Cドライブ
Dドライブ

■ 高度モード

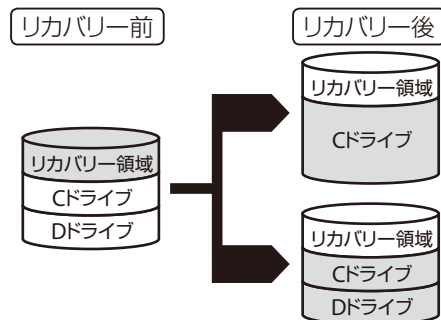
Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。
HDD容量全体から、Cドライブの割合を設定することができます。

①HDDの全体をCドライブとする
ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。

②HDDを2つにわけて、CドライブとDドライブとする
ハードディスク全体を任意の割合で2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。

リカバリー前
リカバリー領域
Cドライブ
Dドライブ

リカバリー後
リカバリー領域
Cドライブ

リカバリー領域
Cドライブ
Dドライブ

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブ、Dドライブ両方のデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

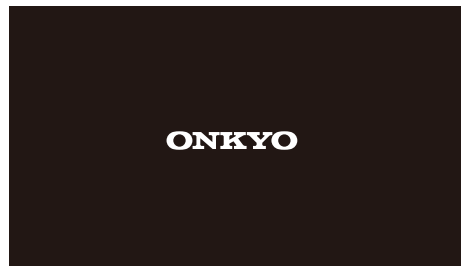
名称と機能
各機能のON／OFF
使用する
トラブルの対応

ハードディスクリカバリーの手順

本製品にプリインストールされているWindows 7は、ハードディスクリカバリーができます。ハードディスクリカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

"ONKYO"ロゴの入った画面が表示されます。

本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリーを実行できません。必ず［スタート］ボタン→［シャットダウン］を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリーを実行してください。

ONKYO

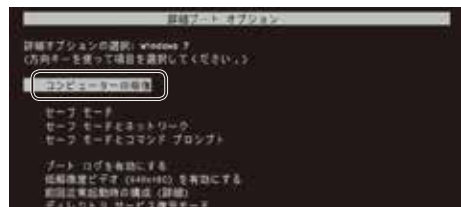
2. **"ONKYO"ロゴが消えた直後、画面が黒くなりましたら F8 キーを数回押します。**

【詳細ブート　オプション】画面が表示されます。

Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度上記手順をおこなってください。

BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリーを実行してください。（BIOSの設定については、製品内にPDFで保管されている「BIOSセットアップマニュアルをご参照ください。）

3. **［コンピューターの修復］を選択して、Enter キーを押します。**

Windowsが、コンピューターの修復モードで起動します。
起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。

4. **次のように設定されていることを確認してください。**

「言語を選択してください」: 日本語

※すでに［日本語］が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

「キーボード入力方式を選択してください」: Microsoft IME

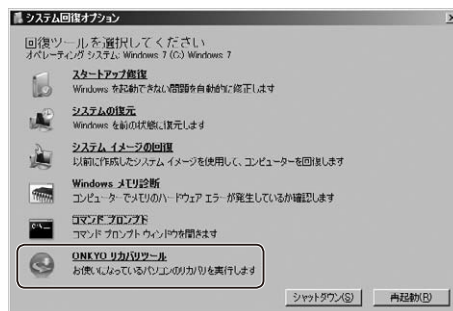
確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

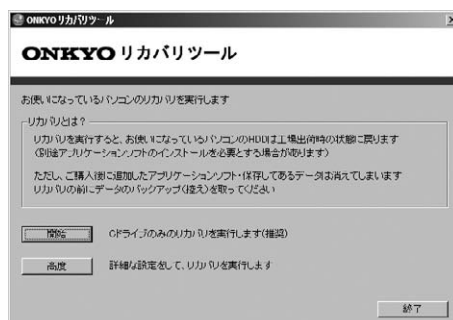
5. **▼をクリックして、表示されるユーザー名一覧からユーザーを選択します。**

6. **パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。**

（パスワードの設定をされていない場合は入力不要です。）

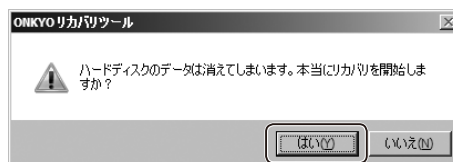
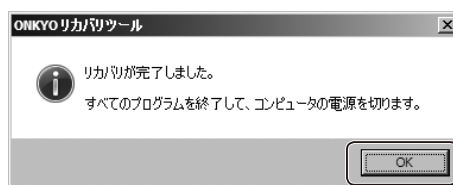
7. **回復ツールの選択一覧から、[ONKYO リカバリツール] をクリックします。**

【ONKYOリカバリツール】が起動します。

8. **[開始] または [高度] ボタンのいずれかをクリックします。**

> リカバリーを中止する場合は、[終了] ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので [はい] をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
> [シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

■ [開始](標準モード)を選択したとき (「高度」を選択したときは次ページを参照してください。)

9. **[はい] ボタンをクリックします。**

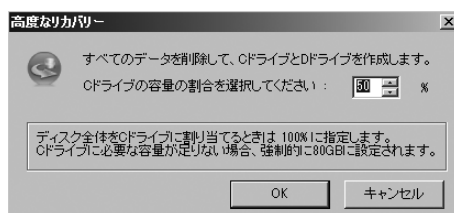
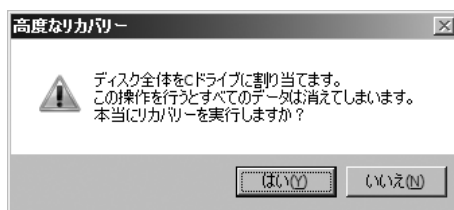
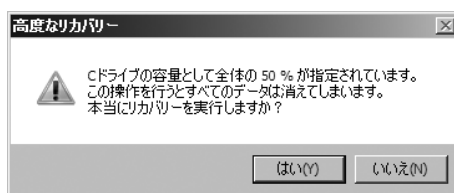
リカバリーが開始されます。

> リカバリーを中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックして、【ONKYOリカバリツール】に戻ります。
> [終了] ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい] をクリックして、前項ー手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
> [シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

10. **[OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**

■ [高度]（高度モード）を選択したとき

9. **Cドライブの容量の割合を設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

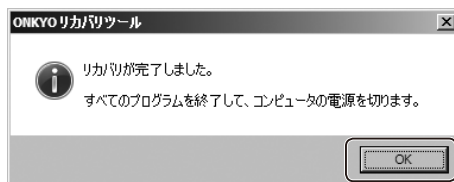
- ハードディスク全体をCドライブに割り当てるときは、100%に設定します。
- 設定した割合が、Cドライブ容量として不足している場合は、Cドライブは強制的に80GBに設定されます。

次のダイアログが表示されます。

任意の%に設定した場合（HDDをCドライブとDドライブの2つに分割）

100%に設定した場合（HDD全体をCドライブ）

10. **[はい] ボタンをクリックします。**

リカバリーが始まります。リカバリー実行中は、右の画面が表示されます。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

11. **[OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作概要について説明します。BIOSの詳しい操作方法については、デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをクリックし、参照してください。

・デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをクリックし、参照してください。

BIOSセットアップマニュアル.pdf

BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。

BIOSとは

"BIOS"とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。

BIOSセットアッププログラムの起動方法（概要）

BIOSセットアップの詳しい操作方法については、BIOSセットアップマニュアルを参照してください。デスクトップ上にある「BIOSセットアップマニュアル」のショートカットをクリックし、参照してください。

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

2. **"ONKYO" のロゴが入った画面が表示されたら、すぐに F2 キーを押します。**

しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度上記手順をおこなってください。

ONKYO

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

← → キー ・メインメニューの項目を左右に移動する
↑ ↓ キー ・項目を上下に移動する
・設定値を変更する
Enter キー・サブメニューへ移動する
・項目選択時、別ウィンドウを開く/閉じる
Tab キー ・次項目へジャンプする
Esc キー ・BIOSセットアッププログラムを終了する
・前メニューに戻る（サブメニューの場合）
・ウィンドウを閉じる（別ウィンドウが開いている場合）

保証とアフターサービス

保証書

●この製品には別途保証書が付属されていますのでお確かめください。
●保証書にある保証規定をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後3年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

サポートサービス

●オンキヨーPCカスタマーセンターでは、製品をご購入いただいたお客様からの技術的なご質問や、修理のお申し込みを受け付けています。修理の場合、お問い合わせの前に、別冊のセットアップガイドの「修理について」もご覧下さい。

オンキヨーPCカスタマーセンター

ナビダイヤル®

0570-001134

9:30～18:00(土日祝祭日、当社指定休業日を除く)
(システムメンテナンスのため受付を休止させていただく場合があります。)

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※一部のPHS、IP電話からかけられない場合がございます。その場合は、お手数ではございますが固定電話でおかけ直しください。
※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。

0570-001134(ナビダイヤル)に電話します。
電話回線の確認をおこないます。音声ガイダンスに従い ＊(こめ)と 1 をプッシュします。

プッシュ回線

ご購入後30日以内のハードウェアの不具合、付属品の不足などの場合、3 をプッシュします。

ご購入後1年以内の場合は 2 をプッシュします。(無償サポート)

ご購入後1年を越える場合は 1 をプッシュします。

1 有償サポート

製品をご購入1年を超える場合には、有償にてサポートを承ります。

修理をご希望のお客様は 1 をプッシュします。

有償サポートをお申込みのお客様は 2 をプッシュします。

有償サポートご利用料金:
お問合せ1件 2,500円(税込)

ダイヤル回線

ダイヤル回線の場合、電話機をプッシュ回線に切り替えてください。変更できない場合そのままお待ちください。

オペレータに電話がつながります。
保証書をお手元にご用意ください。

オペレータから、以下の情報をお伺いします。
- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- ご購入店名

お困りの点についてお伝えください。
診断の結果、緊急修理、欠品付属品送付等を含むサポート対応をさせていただきます。

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様(事業者)が、事業系パソコンリサイクル窓口へ直接依頼。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンターへの運搬。
4. リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、次のWebサイトにてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口 一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、当社専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

PC リサイクル

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」をご参照ください。

- パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社Webサイトでも紹介しております。ぜひご覧ください。
  http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/
- 同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://onkyodirect.jp/pc/used/)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

■ 回収の仕組み

家庭/個人から排出

お申込
【家庭系パソコンリサイクル窓口】
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

PCリサイクル マークあり

PCリサイクル マークなし

輸送にて、リサイクル費用支払い用紙が到着

支払い
リサイクル費用※の支払い
（コンビニエンスストア・郵便局）

伝票受取
「エコゆうパック伝票」到着
PC梱包時の注意事項※を確認し、エコゆうパック伝票を添付。

回収
「エコゆうパック」にて回収
「お客様持込」または、「戸口集荷」

事業者から排出

お申込
【事業系パソコンリサイクル窓口】
一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、上記のWebサイトにてご案内しております。

再資源化
再資源施設へ
排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ（http://www.post.japanpost.jp/）で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合せ番号を検索して調べられます。

■ リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象商品	回収・再資源化料金（税別）
ノートブック型パソコン	3,000円
デスクトップ型パソコン	3,000円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,000円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,000円
液晶ディスプレイ	3,000円
CRTディスプレイ	4,000円

（本書制作時）

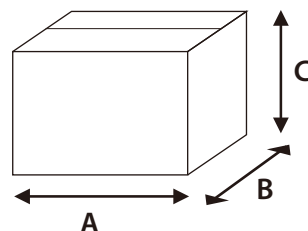
※なお、お支払い時には各種振込手数料が発生します。予めご了承ください。

■ PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で構いません。
■無梱包での輸送はできません。

◎梱包する際の条件は以下の通りです。
・ダンボール箱（もしくは破れにくい袋）
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A+B+Cの長さ＝1.7m以内

C
B
A

<条件を満たさない場合>
梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、リサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱（もしくは袋）に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど、購入時に同梱されていた標準添付品	プリンターなどの周辺機器、取扱説明書/マニュアル、フロッピーディスク、CD-ROM等の媒体 ✕

■ 回収時の条件（回収規約）

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約（http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/images/20080910.pdf）をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

■ 家庭系パソコンリサイクル窓口

インターネットからのお申込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

名称と機能
各機能のON／OFF
使用する
トラブルの対応

■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号) 第二十六号に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省･環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】
市町村は、消費者と同じ手続き･条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。
- ●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- ●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- ●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局（簡易郵便局を除く）へ持ち込むことにより、弊社は使用済パーソナルコンピューターを引き取ります。

注）製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。
※　回収再資源化料金については、「リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金」をご確認ください。

■ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合に、一般に
- ･データを「ごみ箱」に捨てる
- ･「削除」操作をおこなう
- ･「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ･ソフトで初期化（フォーマット）する
- ･ハードディスクのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためにソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意ある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的･磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をおこなう必要があります。

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。
本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows 7 以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書のすべての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器(医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など)や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名：

Tel. ( )

メモ：

ONKYO®

オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山3丁目1番7号 青山コンパルビル4階

P1401-1

DC01-N1180-03A